

全国特別支援学校病弱教育校長会

会報

第58号

発行者 全国特別支援学校病弱教育校長会
埼玉県立けやき特別支援学校校長
三原 和弘
編集 神奈川県立横浜南養護学校校長
峰尾 智子
令和3年3月25日 発行

ごあいさつ

全国特別支援学校病弱教育校長会会長
埼玉県立けやき特別支援学校校長
三原 和弘

令和2年度は、歴史的な一年となりました。新型コロナウイルスが猛威を振るい、感染防止のために学校が長期にわたる臨時休業となりました。その後も、様々な対策を取りながら学校経営をすすめられたことだと思います。また、会議や研究会につきましても中止や実施方法の変更が求められました。全国特別支援学校病弱教育校長会として、本来なら総会や2回の研究協議会を実施するところでしたが、書面開催や研究協議会の冊子の作成のみとさせていただきました。誠に申し訳ありませんでした。次年度は、Web開催の計画を立てておりますので、ご協力をお願いいたします。

コロナ禍では負の面が際立ちますが、国によるGIGAスクール構想の前倒しもあり、今まで以上にICT分野では進展がありました。病弱特別支援学校で早くから取り組んでいた遠隔教育の分野では、地元の学校との遠隔授業や交流、さらにはWebによる復学支援会議などこれまでより壁が低くなり容易に行えるようになってきたのではないのでしょうか。これまで経験したことがない状況の中で、どのようにすれば授業ができるのか、どのようにすることが病気を抱えている子どもたちのためになるのか、今後も全国の先生方と共に考えていきたいと思っています。引き続き、病弱教育の発展のためにご尽力くださるよう、お願いいたします。

令和2年度大会報告

令和2年度第57回全国特別支援学校校長研究大会
令和2年度全国特別支援学校校長総会

書面開催

令和2年度全国特別支援学校病弱教育校長総会
令和2年度全国特別支援学校病弱校長会第1回研究協議会

中止:冊子配布

令和2年度全国特別支援学校病弱教育校長会第2回研究協議会(愛知大会)

中止:冊子配布

※令和3年度の各大会は、zoomを利用しての実施を予定しています。

ロボットプログラミング選手権 2020

令和3年2月3日(水)、ロボットプログラミング選手権大会 全国大会が
神奈川県立横浜南養護学校(神奈川県立こども医療センター内)を会場として、
無観客で行われました。



全国大会結果

- 優勝 岐阜県立長良特別支援学校
ながら SJ
- 準優勝 千葉県立仁戸名特別支援学校
yokozuna
- 第3位 埼玉県立蓮田特別支援学校 麒麟
- 敢闘賞 岐阜県立長良特別支援学校
ながら SJ
- 技術賞 香川県立善通寺養護学校
善通寺養護・中学部



全国大会参加校

札幌市立札幌山の手支援学校 負けを知りたいピエン	岐阜県立長良特別支援学校 ながら SJ
青森県立青森若葉養護学校 チームわかば	富山県立ふるさと支援学校 ふるさと stick
栃木県立岡本特別支援学校 岡本特別支援学校おおり分教室	大阪市立羽曳野支援学校 羽曳近大 DREAMER
埼玉県立けやき特別支援学校 Team ina	大阪府立利根山支援学校 チーム DGN
埼玉県立蓮田特別支援学校 麒麟	香川県立善通寺養護学校 善通寺養護・中学部
千葉県立四街道特別支援学校 よつよう高等部	佐賀県立中原特別支援学校 なかばるっ子
千葉県立仁戸名特別支援学校 Yokozuna	長崎県立桜が丘特別支援学校 桜が丘 A チーム
東京都立光明学園 HITO 校門	熊本県立黒石原特別支援学校 Black Stones
神奈川県立横浜南養護学校 ピースフルワールド	

地区大会

- 10/7 関東・甲信越地区大会 神奈川県立横浜南養護学校
- 11/11 近畿・東海・北陸地区大会 岐阜県立長良特別支援学校
- 11/13 中国・四国地区大会 広島県立広島西特別支援学校
- 12/2 北海道・東北地区大会 岩手県立一関清明支援学校
- 12/18 九州地区大会 佐賀県立中原特別支援学校

開催校のみなさま、ありがとうございました。



病弱教育部門で学ぶ児童・生徒による熱い大会が終わりました。みなさんが治療と両立しながら学び、互いに意見を交わしながらよいプログラムを作ろうと試行錯誤したこと、遠い場所で学ぶみんなとつながって熱い試合を繰り広げたこと、そして全力で仲間を応援したこと。画面からしっかり伝わってきました。今回の大会に挑戦したことを、みなさんのこれからの力にしてください。大会へのご協力ありがとうございました。ロボプロ事務局

ロボットプログラミング選手権 2020 病弱教育部門

<https://y-minami-sh.pen-kanagawa.ed.jp/robot/index.html>